

令和5年12月15日

第10回GX実行会議

ご説明資料を踏まえ、以下のコメントを申し上げたいと思います。

我が国のGX実現に向けて、いよいよ、官民GX投資促進策が実行フェーズに入ってきたことを示されており、これまでの様々な議論を踏まえて、着実に政策の実現を進めて来られた関係者の皆様に敬意を表します。

本投資促進策は、GX経済移行債による先行投資支援と、規制・制度、カーボン・プライシングの組み合わせのもと、多排出産業のみならず、中小企業、スタートアップ、さらにはアジアへのGX展開と、極めて包括的かつ野心的な取組みであると認識しています。

これまでも繰り返し述べてきたとおり、20兆円のGX経済移行債はGX実現に向けて必要と言われている150兆円超にも上る官民投資の呼び水であり、上記に言及した様々な取組みが有機的に結びついてこそ、実現できるものです。

この有機的な結びつきや連携によるGX投資促進策の実装を進める上で、来年度設立予定であるGX推進機構の役割は極めて重要だと考えております。同機構が最大限、有効かつ効果的に機能するためには、民間の金融機関、対象となる民間企業に加えて、第三者として、技術のみならず内外の産業動向に精通した有識者を含めた議論を取り入れた業務の執行を期待します。

また、中小企業、スタートアップへの支援については、我が国の経済政策にとって重要であることには同意します。とはいえ、限られた予算の中で、対象の選定と具体的な支援について、相応の基準のもとに検討、実施を進めて頂きたいと思っております。また、これらの支援の具体的な成果についても、KPIやステージゲートの設定などの継続的なモニタリングの体制の構築が必要と考えます。

最後に、アジアへの展開については、各国においても様々な取組が始まっており、AZECの枠組みを通じた議論に加えて、追加的な協力体制の必要性の有無についても検討を進めて頂きたいと思っております。

BofA証券株式会社 取締役副社長 林 礼子